

一般質問

■祭り会館について

七尾ならではの施設となるように！

佐藤議員 和倉温泉観光会館を祭り会館にリニューアルするために、青柏祭、能登島向田の火祭、石崎奉燈祭、お熊甲祭など多くの祭りがあがるなかで、絞って展示する考えはあるか。また、どのような施設の構想をもっているのか。そして、リニューアルの祭り会館、中島の祭り会館、建設予定の歴史博物館の3館を回る共通券を発行する考えはあるか。

不嶋市長 一つに絞った展示ではなく、市の四大祭りを展示し、四季折々の魅力ある祭り文化を国内外に情報発信をしていきたい。現在、整備検討委員会では、本物の祭礼を見に来ていただく動機づけができる工夫を凝らした施設になるよう検討を進めており、実物の展示や体験・臨場感をテーマにしっかりと構想を練っていききたい。祭り関係者からも祭りの道具や展示用のデータなどを掘り起こしているところで、七尾ならではの魅力ある施設になるように、11月末までに基本構想を立てて示したいと思っている。中島の祭り会館と和倉温泉の祭り会館での共通券は、あまり相乗効果が期待できないが、新たに花嫁のれん館と連携して和倉温泉と周遊観光に繋がるような共通観覧券であれば発行することも可能だと思われるため、今後前向きに検討していきたい。

【その他の質問項目】
■地域おこし協力隊



佐藤 喜典 議員
(無党派)



和倉温泉観光会館

一般質問

■七尾市の人口推計について

自分たちの地域を守るために
地域自ら真剣に考えるべき！

杉木議員 合併して13年の間に人口が9,500人減り、今後13年後の2030年には11,000人がまた減るといふ推計が出ている。地域や町会、地域づくり協議会などに対しこの推計を示して、地域ごとでも自分たちの地域を守っていくためにはどうすればいいのか真剣に考えてもらうべき。地域自らが考える機会を持って、今後町会として存続できるのか、行事や祭礼など維持できるのか、そういうことも含めて考えていくべきと思うが、市長の見解はどうか。

不嶋市長 公民館単位で地区別の人口推計は策定しており、資料も渡すことができることになっているが、あまり活用されていない。地区別の人口推計は、あくまで一つの目安として策定しており、要望があればしっかりと提供もしていきたいが、大変厳しい現実も示されることになり、がっかりする地区もあるかもしれないが、しっかりと活用してもらいたい。データの子育て世代、地域の担い手状況、高齢者人口など、それぞれの地区や地域づくり協議会などの現状を把握することができ、今後各地域づくり協議会が自助共助の観点からも自ら課題を深掘りし、できることから取り組む、地域の将来像を考えていく、そういうきっかけになればと思っている。

【その他の質問項目】
■災害学習センターの設置



杉木 勉 議員
(灘会)



七尾市内の全景

一般質問

■買い物弱者について

住民を支える地域と
その地域を支える行政に！

山添議員 これまでの買い物弱者対策はどのような成果を上げているのか。また、七尾市のNPO法人の買い物支援事業は利用率が高く、要望も多いが採算が取れないと聞いている。この事業に対し、行政が支援するのも対策の一つと思うが見解はどうか。群馬県高崎市の例で、タクシーを利用した買い物支援事業があり、町会に支援する形で、定期的に高齢者の買い物支援をする町会に対し、タクシーチケットを交付するものであるが、七尾市でもこういう対策は考えていないのか。

津田健康福祉部長 当市では、平成23年度に移動販売車の導入支援を行い、JA能登わかばが高齢化率の高い地域を巡回する移動販売事業を実施し、一定の成果を上げている。現在、移動販売事業の参入が増えており、状況を見守っていききたい。また、行政の事業支援については、地域包括ケアシステムの生活支援の一事例として地域づくり協議会に紹介し、介護保険の総合事業あるいは地域づくり基金での事業支援も含めて考えていく。群馬県高崎市の事業についても町会が主体となっている事業支援の取り組みであり、これも地域づくり協議会などに先進事例として紹介していきたい。

【その他の質問項目】
■生活困窮者自立支援
■平和写真パネル展

■障害者の雇用
■部活動支援員採用



山添 和良 議員
(無党派)



市内のタクシー